

2023 年度(令和 5 年)第 1 回教育課程編成委員会 議事録

日 時 2023 年 9 月 5 日(火)14:00～

場 所 旭美容専門学校 本館 会議室

出席委員	株式会社ふらいむ シニアマネージャー	伊藤元 委員
	有限会社ラボ・ビューティ取締役	佐々木昌美 委員
	Hair shop OZ オーナー	小林裕也 委員(書面参加)
	Nail&cosmeticTOBIOKA オーナーネイリスト	前田佳苗 委員
	旭美容専門学校 校長	長谷川雅敏
	旭美容専門学校 教務部長・美容科学科長	河村久美
	旭美容専門学校 トータルエステティック科科長	豊田そのみ(司会)

オブザーバー 株式会社ふらいむグループ代表 岩崎哲司 様

書 記 旭美容専門学校 事務 駒倉美佳

議事次第

1. 開会

トータルエステティック科科長豊田そのみから開会の挨拶がなされた。

司会者となり配布資料の確認をした。Hair shop OZ オーナー小林裕也 委員は都合により欠席。事前アンケートによる出席となる旨を説明する。教務部長河村も ZOOM での参加となり、ハイブリット会議となる旨を説明した。

2. 学校長挨拶

校長長谷川雅敏より、

美容科は今月初めから新学期がスタートし、来月コロナ規制がなくなって初めての学園祭を10月28日(土)に開催予定。準備に励んでいるところ。トータルエステティック科は明日から新学期がスタート。スチューデントサロンもすぐにスタートする予定。バリ島海外研修も予定している。

教育課程編成委員会での助言をいただき、カリキュラムも改正されてきた。今会議でも忌憚のない意見を沢山いただきたい。

先日私立大学の 53%が定員割れ、定員充足率も過去最低を記録したという記事を見た。時代に取り残されると厳しい時代であると言われるが様々な社会変化に柔軟に対応出来るのは大学よりも機敏に小回りがきき規制も少ない専門学校だと言われており、我が校もその特性を發揮し機敏に対応していきたいと思えます。そんな意味でも、この委員会の役割は大きく、半年に一度の機会なのでぜひ活発な意見をたくさんいただきたいと思う。と挨拶がなされた。

3. 議事

一、美容科、トータルエステティック科の教育課程について

1) 前回教育編成委員会以降の取り組みについて

トータルエステティック科の取り組みについて

資料③より、カリキュラムの説明。各協会のカリキュラムに沿った授業で基礎を身に付けた上で各希望職種に応じた深く学ぶ旨を説明。学生時代にしかできない体験をするためバリ島海外研修を今年度は予定している。

また当委員会でエステティシャンに求められるものとして、販売の苦手意識をなくすことと指摘されたことについて、スチューデントサロン実習の時間に店長制を導入し、学生達主体で商品を選び、販売実践をする取り組みをした。主体性を持たせて運営させた方が、学生同士の試行も深まり楽しくサロン運営ができていたように思う。また佐々木先生にお願いした東京研修にてプロの研修を実際にうけたことにより、プロの現場を知り、スチューデントサロン実習でも学生サロンといえどプロとしての意識を持つことができた。皆様からの良い意見をいただいたおかげで良い授業となっていくと思う。

離職しない学生を目指してこの取り組みは続けていきたいと思う。

今年度はスパへの就職を希望する学生も多い為、スパならではの接客の授業を取り入れていく。

学生のモチベーションをあげていくために、エステ・ネイルでコンテスト出場するため取り組んでいる。

また当委員会にてネイリストとして即戦力となる為にネイルマシンを学ぶべきと提案をしていただき、ネイルマシンの導入をすすめているが、実際に就職を希望するサロンからもネイルマシンがどれくらい使いこなせるのか？と問い合わせもある。これからはもっとマシンを授業に取り入れていきスチューデントサロンで使えるまでになるところを目指す。トータルエステティック科科长豊田より説明

(トータルエステティック科の取り組みについてのご意見)

- ・ 美容科もエステ科もネイリスト志望の学生に対して・・・コミュニケーションの取り方について、上手に会話するという事よりも、お客様の要望を正確に聞き取る事が大切。
お客様一人ひとり「かわいい」の概念が違うため、iPad を導入されたのであれば、画像を見せてお客様の「かわいい」を可視化し要望に応じられるようにしてみても？ネイル画像をアプリ使用し、グループ分けをしておいても。 (前田委員)
- ・ ネイルマシンについては回数をこなすこと。人の手を使って練習することが必須。しっかり学校でまなぶことにより、サロンに合わせて簡素化することは簡単。 (前田委員)
- ・ エステティシャン志望の学生に対して・・・トランスジェンダーのエステティシャンが入社。初めは戸惑うこともあったが、活躍してもらっている。Z 世代の難しいところと良いところの局面に接し、やり方を変えていかないといけない。
離職率についても、今は離職していい時代になっているのかもしれない。企業側としては長く勤めていただきたいとは思いますが、合わない職場で壊れてしまうより自分に合う職場を見つける時代なのではと思う。
絶対辞めてはいけない、というより再就職を協力してあげるシステムを考えては？ (岩崎様)
- ・ 新卒でも物怖じをしない学生が増えている。東京研修を提案させていただいているが、一流サロン

見学でプロの現場はこれが普通だと理解できれば学生も実践していける。 (佐々木委員)

- ・ 営業力販売の勉強というよりはプレゼン能力のアップを勉強するというほうが学生には良いのでは。
- ・ インターンシップについても企業説明を受けてからのインターンシップにしては、1年制なので難しいかもしれないが、ある程度専門分野の勉強をしたのち、企業説明を受け、インターンシップが理想。 (伊藤委員)

美容科の取り組みについて

資料②よりカリキュラムの説明。必修科目はすべての美容学校が同じ教科、選択科目は各学校独自のもの。その選択科目の中での取り組みとして

キャリアデザイン➡企業経営セミナー、創業カレッジを開催し、ビジネスとしての美容を考える機会を作っている。インターンシップ現在2回開催していたが来年度からより実践的な活動をと3回の開催を目指す。

フォトワーク➡CHA学生部門に応募。第一線の現場で活躍しておられる先生方による独創性と芸術性を高める授業を実施。学生部門での優勝、各賞入賞の結果を残すことができた。参考資料①と美容科科长河村より説明

(美容科の取り組みについてのご意見)

- ・ インターンシップ開催を3回にするなら5月GW明けなどが理想。一店舗でも多く美容室を経験することで、比較対象が増え、学生はより自分に合ったサロンを見つけやすくなり、美容室側も学生へお店を紹介する機会が増えるので良いと思う。
- ・ また業界として最近ではブリーチを使ったハイトーンカラーも増えてきており、幅広い年齢層の方がご来店されるため、白髪ぼかしハイライトの要望が増えています。社会人としてのマナーや言葉遣い、お客様に対する気遣いなど技術面以外のことも大切だと思います。(小林委員 書面参加)
- ・ 沢山の現場を見せてあげたいと思うが、時間や対応する人が都合つかないということもある。
(岩崎様)
- ・ インターンシップ先を自分で探すところからスタートする学校もある (伊藤委員)
- ・ 創業セミナーについて技術を修得し、創業しようという自分の目標を持つことは良いと思う。
何をめざすか・・・バリバリやりたい、ゆったりやりたい、将来自分の空いた時間に育児をしながらできればいいとかいろいろなゴールを見据えているといいと思う。
(岩崎様)

2) 今後の取り組みについてのご意見、質疑・応答

本校1年制のエステ科➡2年制(エステの資格のみ)3年制(美容師の国家取得とエステの資格)の学校が多い。今後のカリキュラム作成について意見をいただきたい。と豊田より発言。それをうけ、

- ・ 18歳と19歳20歳は60歳61歳62歳と同じ1歳差ではない。もの凄く進歩するとき。18歳よりも20歳で入ってくる学生はストレス耐性が強い。理想をいうと20歳での入社をすすめる。(岩崎様)
- ・ この何年か、コロナ禍が始まり家庭が裕福でなくなっている学生が増えている現状。一年制で完結できる良さ。親御さんの負担の軽さ。に加えて18歳で社会に出てくるよりは1年間学び19歳

で社会に出てくる人を育てる。そういう役割を果たす学校。

(伊藤委員)

- ・ 他校との差別化で 1 年制を、また卒業後、離職してしまった卒業生へのフォローアップ、アフターケアをしっかりと学校であることを打ち出していくのもいいと思う。離職率を下げる事よりもその後のケアをしてあげられる学校を目指してほしい。学生と先生の距離の近い学校としての特色を活かして、卒業生の再就職の相談窓口ホットラインの開設などをしては？ (岩崎様)
- ・ 1 年制、2 年制 3 年制では学校としては長期のほうが利益性はいいのだろうが、1 年制だから入学できる学生もいる。また 3 年制で美容師・理容師・エステの資格を取得してくる学生がいる。沢山免許を持ってきてくれているが、美容師を目指す人、理容師を目指す人エステティシャンを目指す人、ネイリストを目指す人それぞれカラーがある。美容師免許の必要なエステ技術もある為、エステティシャンよりの美容師(エステティック科で学んだ美容師資格を持った人)が欲しい。という現実はある、選べる選択肢はあってもいいのかと思う。(佐々木委員)

二、その他

1) 次回会議の開催日について

別紙日程調整表に可能日を記入していただき提出してほしいと述べた。

日時:2024 年 3 月開催予定 場所:旭美容専門学校 3 号館

2) 閉会挨拶

現場の貴重なご意見をありがとうございました。

本日頂いたご意見を、教育課程の編成に反映していきたいと思えます。と校長より閉会の挨拶がなされた。

以上